

8月の植物

タンナトリカブト (キンポウゲ科)

学名 : *Aconitum napiforme* Lev et Vant

トリカブトの仲間佐賀県に3種が分布し青系の美しい花を咲かせる。ミツバトリカブト、タンナトリカブト、レイジンソウで、3種とも天山に見られる。トリカブトの仲間は塊根に猛毒のアコニチンを含有する。天山山頂付近は蛇紋岩地帯で植物はわい性化している。通常のタンナトリカブトの草丈は1m前後で天山の個体は30-40cm程度で小さく、実生してもこの形質は受け継がれる。トリカブトの塊根の毒は古来より毒薬、漢方薬に用いられている。アイヌ民族はエソトリカブトにニシンの油を混ぜたものを熊狩りに用いた。私の岳父は佐賀県警の鑑識に勤めていた。岳父の話によれば昭和20年代、小城でもトリカブト殺人事件があり担当したそうだ。私が高校生の時、天山のタンナトリカブトの塊根を採集し塊根を切断してなめた事があるが電気的な刺激があった。天山のタンナトリカブトの個体はかなり減り、マツムシソウが増えた。昨年、10月にミツバトリカブトを再発見した。

(文・写真：井上康彦)



佐賀市富士町天山にて